

2018年4月3日発行

プレスリリース

**TOKYO MX**  
東京メトロポリタンテレビジョン株式会社

関係各位



## ～「エムキャス」ビジネスプラットフォームの機能強化について～

東京メトロポリタンテレビジョン株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 河内 功）は、ネット環境の変革を背景に、番組の同時配信サービス「エムキャス」を2015年7月実証実験として開始し、日本全国のユーザーに向け約3年間サービスを行ってきました。

現在、TOKYO MXの他、ウェザーニューズ、広島ホームテレビ、群馬テレビ、奈良テレビがサービスに参加しています。これまで、アプリでの展開に加え、PCでの視聴も可能とし、一部番組については、見逃し配信も行いながら、放送番組のネット配信について多角的な取り組みを行ってきました。

当社は今後、更なる発展を目指し、新たなビジネスプラットフォームとして展開する計画を現在進めています。

その一環として、「エムキャス」のビジネスプラットフォームとしての技術基盤強化のため、「継続的発展のための協力関係の構築」に関し、株式会社Jストリーム（本社：東京都港区、代表取締役社長 石松 俊雄以下「Jストリーム」）との間で基本合意に至りました。

株式会社JストリームはCDN（※1）、DRM（※2）、各種制御技術など優れた配信技術を保有しており、「エムキャス」は同社の技術協力を得ることで、更に安定したサービスとして一層の機能向上を図っていきます。

※1 Content Delivery Network

コンテンツをインターネット経由で配信するために最適化されたネットワーク

※2 Digital Rights Management デジタル著作権管理

本件に関するお問い合わせ  
TOKYO MX 編成局 編成部